

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【公表番号】特表2017-505183(P2017-505183A)

【公表日】平成29年2月16日(2017.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2017-007

【出願番号】特願2016-549761(P2016-549761)

【国際特許分類】

A 6 1 B 18/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 18/14

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月13日(2017.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

体腔（70, 71, 72）内に挿通される電気手術器（1000, 2000, 3000, 4000, 5000）であって、

少なくとも1つの第1の電極（1210, 2210, 3210, 4210, 5210）を有する第1のアプリケータ（1200, 2200, 3200, 4200）と、

少なくとも1つの第2の電極（1310, 2310, 3310, 4310, 5310）を有する第2のアプリケータ（1300, 2300, 3300, 4300, 5300）と、
を備えており、

前記第1のアプリケータ（1200, 2200, 3200, 4200, 5200）および前記第2のアプリケータ（1300, 2300, 3300, 4300, 5300）は、互いに依存せずに体腔（70, 71, 72）内にて位置決めできるように構成されていることを特徴とする電気手術器（1000, 2000, 3000, 4000, 5000）。

【請求項 2】

前記第2のアプリケータ（2300, 4300）は、内部に前記第1のアプリケータ（2200, 4200）を引出可能に配置したガイドアプリケータとして構成されている、請求項1記載の電気手術器（2000, 4000）。

【請求項 3】

前記第1のアプリケータ（3200, 5200）と前記第2のアプリケータ（3300, 5300）とは、互いに依存せずに引出可能であるように、同一のガイドシース（3100, 5100）内に配置されている、請求項1記載の電気手術器（3000, 5000）。

【請求項 4】

前記ガイドアプリケータとして構成された前記第2のアプリケータ（2300, 4300）または前記ガイドシース（3100, 5100）の遠位端（2111, 3111, 4111, 5111）は、開放している、請求項2または3記載の電気手術器（1000, 2000, 3000, 4000, 5000）。

【請求項 5】

前記ガイドアプリケータとして構成された前記第2のアプリケータ（2300, 4300）

0) または前記ガイドシース (3 1 0 0, 5 1 0 0) の遠位端 (2 1 1 1, 3 1 1 1, 4 1 1 1, 5 1 1 1) は、前記第 1 および／または第 2 のアプリケータ (2 2 0 0, 3 2 0 0, 3 3 0 0, 4 2 0 0, 5 2 0 0, 5 3 0 0) に対して封止されている、
請求項 2 または 3 記載の電気手術器 (1 0 0 0, 2 0 0 0, 3 0 0 0, 4 0 0 0, 5 0 0 0)。

【請求項 6】

前記ガイドシース (3 1 0 0, 5 1 0 0) および／または前記第 1 のアプリケータ (1 2 0 0, 2 2 0 0, 3 2 0 0, 4 2 0 0, 5 2 0 0) および／または前記第 2 のアプリケータ (1 3 0 0, 2 3 0 0, 3 3 0 0, 4 3 0 0, 5 3 0 0) は、柔軟におよび／またはフレキシブルに構成されている、

請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載の電気手術器 (1 0 0 0, 2 0 0 0, 3 0 0 0, 4 0 0 0, 5 0 0 0)。

【請求項 7】

前記第 1 のアプリケータ (1 2 0 0, 2 2 0 0, 3 2 0 0, 4 2 0 0, 5 2 0 0) および／または前記第 2 のアプリケータ (1 3 0 0, 2 3 0 0, 3 3 0 0, 4 3 0 0, 5 3 0 0) は、薄い肉厚のフレキシブルな管である、

請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項記載の電気手術器 (1 0 0 0, 2 0 0 0, 3 0 0 0, 4 0 0 0, 5 0 0 0)。

【請求項 8】

前記第 1 のアプリケータ (1 2 0 0, 2 2 0 0, 3 2 0 0, 4 2 0 0, 5 2 0 0) および／または前記第 2 のアプリケータ (1 3 0 0, 2 3 0 0, 3 3 0 0, 4 3 0 0, 5 3 0 0) は、金属管である、

請求項 7 記載の電気手術器 (1 0 0 0, 2 0 0 0, 3 0 0 0, 4 0 0 0, 5 0 0 0)。

【請求項 9】

前記ガイドシース (3 1 0 0, 5 1 0 0) および／または前記第 1 のアプリケータ (1 2 0 0, 2 2 0 0, 3 2 0 0, 4 2 0 0, 5 2 0 0) および／または前記第 2 のアプリケータ (1 3 0 0, 2 3 0 0, 3 3 0 0, 4 3 0 0, 5 3 0 0) は、各内部に流体 (1 0 0) を流せるように構成されている、

請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項記載の電気手術器 (1 0 0 0, 2 0 0 0, 3 0 0 0, 4 0 0 0, 5 0 0 0)。

【請求項 10】

前記ガイドシース (3 1 0 0, 5 1 0 0) および／または前記第 1 のアプリケータ (1 2 0 0, 2 2 0 0, 3 2 0 0, 4 2 0 0, 5 2 0 0) および／または前記第 2 のアプリケータ (1 3 0 0, 2 3 0 0, 3 3 0 0, 4 3 0 0, 5 3 0 0) は、各内部に流された流体 (1 0 0) が流出するための 1 つまたは複数の開口 (4 2 2 0) を有する、

請求項 1 から 9 までのいずれか 1 項記載の電気手術器 (1 0 0 0, 2 0 0 0, 3 0 0 0, 4 0 0 0, 5 0 0 0)。

【請求項 11】

前記第 1 のアプリケータ (1 2 0 0, 2 2 0 0, 3 2 0 0, 4 2 0 0, 5 2 0 0) および／または前記第 2 のアプリケータ (1 3 0 0, 2 3 0 0, 3 3 0 0, 4 3 0 0, 5 3 0 0) は、冷却されるアプリケータである、

請求項 1 から 10 までのいずれか 1 項記載の電気手術器 (1 0 0 0, 2 0 0 0, 3 0 0 0, 4 0 0 0, 5 0 0 0)。

【請求項 12】

前記第 1 および／または前記第 2 のアプリケータ (1 2 0 0, 1 3 0 0, 2 2 0 0, 2 3 0 0, 3 2 0 0, 3 3 0 0, 4 2 0 0, 4 3 0 0, 5 2 0 0, 5 3 0 0) は内部冷却式である、

請求項 1 から 11 までのいずれか 1 項記載の電気手術器 (1 0 0 0, 2 0 0 0, 3 0 0 0, 4 0 0 0, 5 0 0 0)。

【請求項 13】

前記第1のアプリケーター（1200, 2200, 3200, 4200, 5200）は2つ以上の電極を有し、および／または、前記第2のアプリケーター（1300, 2300, 3300, 4300, 5300）は2つ以上の電極を有する、請求項1から12までのいずれか1項記載の電気手術器（1000, 2000, 3000, 4000, 5000）。

【請求項14】

前記ガイドシース（3100, 5100）および／または前記第1のアプリケーター（1200, 2200, 3200, 4200, 5200）および／または前記第2のアプリケーター（1300, 2300, 3300, 4300, 5300）は、拡張可能要素（5400）を有する、請求項1から13までのいずれか1項記載の電気手術器（1000, 2000, 3000, 4000, 5000）。

【請求項15】

前記拡張可能要素（5400）はバルーンである、
請求項14記載の電気手術器（1000, 2000, 3000, 4000, 5000）。